

上下水道 トピックス

水の
手
せ
手
を
体
験
!

親子で
学
ぼう、
ダム
見
学
会
!



Contents

親子ダム施設等見学会を実施しました
上下水道の歴史について知ろう!
地震に強いまちづくり
令和4年度 水道事業会計・下水道事業会計の決算報告
水道料金及び下水道使用料のしくみ

Vol.25

令和6年1月1日

親子ダム施設等見学会を実施しました

🕒 タイムスケジュール 🕒

- 8:00 入間市役所集合
- 8:10 入間市役所出発
- 8:30~10:00 鍵山浄水場見学
- 12:00~13:00 昼食休憩
- 13:00~14:00 浦山ダム資料館うららびあ 浦山ダム見学
- 16:30 入間市役所到着・解散



上下水道部では、例年親子ダム施設等見学会を実施しています。今年度は、7月29日(土)に小学4年生の児童、その保護者の方を対象に10組20名様にご参加いただきました。

見学先は、鍵山浄水場と秩父市にある浦山ダムで、施設の見学やダムの仕組み等の説明を聞きました。
参加者の方々からは、様々な感想をいただき、大変有意義な1日となりました。

上下水道の歴史について知ろう!



水道

紀元前312年に共和政ローマで作られた「アッピア水道」が人類最初の水道と言われています。現在は2023年ですから実に2335年の歴史があります。まだモーターや配電技術はなかった時代の設備なので、ローマで作られた水道管は、完全な自然流下方式で作られていました。
現在でもフランス ニームのポン・デュ・ガール水道橋やイタリア ローマにあるヴィルゴ水道終端点の有名な観光施設になっているトレビの泉に、その遺構を見ることができます。

下水道

日本や世界各国では、過去、都市人口の増加に伴い汚物が道路などに投棄され、伝染病が流行するなど衛生状態が悪化したため、街の中を清潔にし、公共用水域の水質保全という役割を担うために下水道が作られました。
世界最古の下水道は、今から約4000年前に古代インドの都市「モヘンジョ・ダロ」で作られたものとされており、日本最古の下水道は、1884年(明治17年)に東京で作られた「神田下水」とされています。



地震に強いまちづくり

下水道施設であるマンホールや汚水管は、地中に埋設されているため、大規模な地震が起きた時に、衝撃等により汚水管やマンホールにひびなどの破損、マンホール自体が浮上する可能性があります。入間市では、それらの地震被害防止のために耐震性を確保する工事を行っており、継続的に安心して利用できるまちづくりに取り組んでいます。



工事例● 汚水管耐震化工事
既設管の中に新しい管をつくり強度を付与する工法

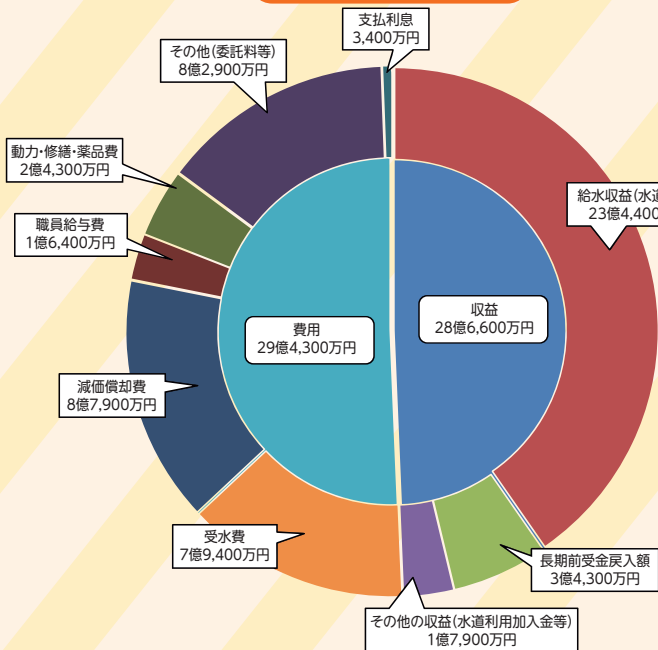


工事例● マンホール耐震化工事
既設のマンホールに強度と防食性を付与する工法

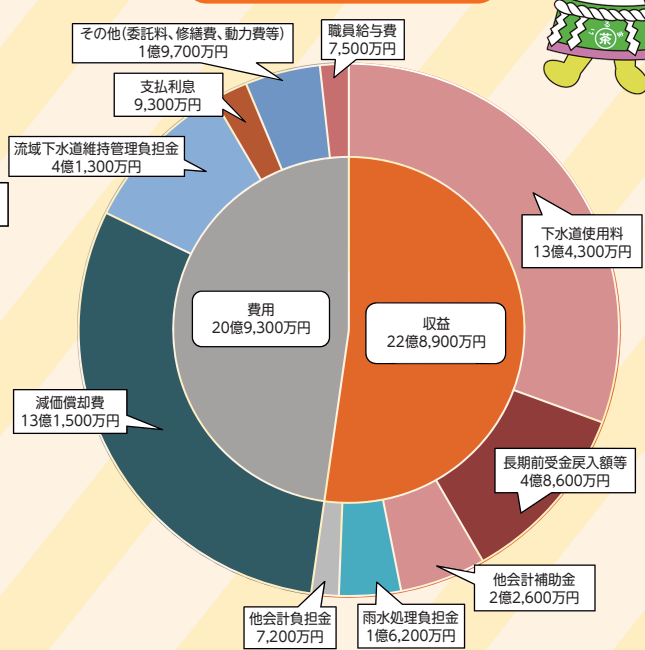
令和4年度 水道事業会計・下水道事業会計の決算報告



水道事業会計 (税抜)



下水道事業会計 (税抜)



※グラフは収益的収支（事業を運営するための財源と経費）です。見やすいように100万円単位以下を調整し表示しています。
 ※企業債：水道管・污水管渠等の建設改良に要する費用に充てるために国等から借りた資金。

純利益及び純損失

令和4年度決算において、収益から費用を差し引いた損益は、水道事業会計では約7,700万円の純損失、下水道事業会計では約1億9,600万円の純利益となりました。水道事業会計の純損失は、南峯配水池解体工事等の特別損失が生じたことによるものです。下水道事業会計の純利益は企業債の償還に充てるために積み立てる予定です。

事業経営の課題

①人口減少等による使用量の減少に伴う収入減、②電気料金及び維持管理費の高騰、③耐用年数を迎える施設や設備の更新、④物価や人件費の上昇に伴う工事費の高騰などの課題により、厳しい経営環境ではありますが、計画的な施設の維持管理と健全な事業運営に努めています。

水道料金及び下水道使用料のしくみ

安定したサービスと事業経営を継続するため、その運営費用として水道料金や下水道使用料を皆さまにご負担いただくことで、「独立採算制」で事業を行っており、税金等で賄われる一般会計や特別会計とは別会計となっています。

水道料金

$$\text{水道料金} = \text{基本料金} + \text{従量料金}$$

基本料金は、使用水量の有無にかかわらず水道メーターの口径に応じて、従量料金は、使用水量に応じて算定しています。

下水道使用料

下水道使用料は、使用者が排出した汚水の量（水道使用量）に応じて算定しています。また、水道料金と併せて徴収していることから、水道検針日の前月分と前々月分の2か月分として算定しています。

Q 何に使われている？

水道料金は、県水の購入や入間川の水を水道水に浄水する費用、ご家庭や工場への配水費用、水道施設の更新を行うための費用に充てられています。

下水道使用料は、終末処理場（県営施設、所在地：和光市）で汚水を処理する費用や下水道施設の維持管理（清掃・補修等）費用に充てられています。



発行：入間市上下水道部
☎04-2964-1111



今年度号より読者の声アンケートを始めました。皆さまの声を聞かせください！あなたの想いがデザインに反映されるかも…？